

2004

4月

平成16年3月9日発行

広報

つるが



初午祭り(2月21日 山 稲荷神社)

今月の内容

- 特集「足田 舟川遺構」・・・ 2~5
- まだまだできる ごみのダイエット!・・・ 6~7
- つないでいますか?親子の心の絆・・・ 8~9
- 乳幼児医療費助成が拡大・・・ 10
- 敦賀市歌
- 風景写真コンテスト2003結果発表・・・ 11
- 街角スケッチ・・・ 12~13
- おしらせほか・・・ 14~20

No.746

r100 再生紙を使用しています

特集

交流都市敦賀の歴史を今に残す

足田舟川遺構



イメージ図（足田舟川地区水環境整備事業 竣工記念碑より）

足田の集落の中を流れる川をご存じですか。今の姿は川幅1メートルほどの用水路ですが、北前船の時代、この川には敦賀の湊から笹の川を上げて荷物を運んだ舟が行き来していました。湊から運ばれてきた荷物は、この足田で牛や馬に担がれて峠を越え、琵琶湖へ。そこで再び舟に乗せかえられて、京や大阪、尾張の国などへ運ばれていきました。この川は舟川と呼ばれ、当時の遺構として今もなお、足田の集落を静かに流れています。

県が行っている足田舟川地区の水環境整備事業では、足田舟川整備検討委員会が組織されています。この委員会では「水と史の回廊 暮らしに生かす足田舟川」をテーマに整備事業の検討が行われ、地元の見解を生かすために足田区から10人の方がメンバーに入っています。

また、この10人の委員さんたちは舟川整備をきっかけに、舟川の歴史を地元住民はもとより広く市民にも知ってもらおうと、舟川に関する様々な資料を収集。これを愛媛公民館の外壁を利用した展示スペースに展示するため、今、準備に追われています。この10人の委員さんにお話を伺いました。

思わぬところから資料が

今まで、「こうやった、ああやった」と、先人の言ったことを自分たちなりに考えておっただけで、我々も地元に住りが舟川の本当の知識は無いに等しかったんですわ。というのも、足田には舟川に関する資料がほとんど残ってらんかったんです。

地元で新築や改築する家があると、要らんようになつたふすまや唐紙をいただいて、その中に「何か残つたらんか」と、探したりもしました。昔のふすまは裏張りに和紙を使つとるんですね。昔は紙は貴重やったから、要らんようになつた和紙でも裏張りに使つとつたんでしょなあ。そういうところから案外貴重な資料が出てきたりもしたんです。例えば、当時はメモ書き程度やったんでしょうけど、積荷の明細とかね。

また、こういう活動をしていって、資料

を持つておられる方がいろいろと提供してくれて、そんなことで舟川のがだんだん分かってきたんです。

敦賀に一隻の千石船が入ると米400俵あつたらしいんです。この米は全部この舟川を通らんことには京、大阪へは行かんのです。三隻つないで舟がここまで着くでしょ。一度に米が何十俵とくる。舟は両側から16人（片側8人ずつ）が引つ張つて、川を上つて来たんです。そうすると「舟が来たぞー」となつて荷物を下ろして馬に積み替えて・・・そのころを想像するとね、すごいにぎわいやったと思います。

残すため、工事には口も出さ

ただ単にきれいに整備してもらっただけでなく、舟川には尊い歴史があり、また昔から炊事やら洗濯やら排雪やらに使つておる、生活に溶け込んでいる大事なもんやから「昔からの形を残してほしい」とお願いしたんです。県の人も地元の私らのいろんな意見を取り入



通称「舟川委員」のみなさん

れてくれました。無理を言ったこともあつて、工事がストップしたこともありましたが（笑）。

舟川は胴木が特徴なんです。足田は海拔70メートルぐらい。こんな高いところまで舟を上げてくるのはちよつとやさつとではできんと思う。それを川底の浅いところに胴木をひいて滑りやすくし、舟の行き来を楽にしたんですわ。当時の人は賢いですわ（笑）。そんな歴史の証拠でもある胴木ですから、保存してもらつたために何度も工事の人と話をしました。工事する方としては取つ払つた方が早いんですから、死に物狂いで工事の人に掛け合いました（笑）。

散策に、ぜひ！

そんなこんなして集めた資料なんで、地元の人でも初めて見るもんがぎょうさんありますね。これを展示すると皆関心を持つてくれるかなあと思います。

きれいになつた舟川。情緒のある場所ですから、街から遊びに来てくれるといいなあと思います。また、足田は古い宿場町でもあつて、他所から大勢の人を迎え入れていたからでしょうかねえ、人へのサービスがうまい氣質ではあるんですよ（笑）。夢というところかいいけど、市民の憩いの場になつてくれるといいなあ。

委員になつていろんな活動して、「ご苦労さんやね」と周りから言われますけど、苦労よりもむしろ、やらしてもらつてるんですわ。なんたつて舟川は私らの「生活必需品」やからね。

ご存じですか？

日本海と琵琶湖を結ぶ

幻の運河計画

敦賀と琵琶湖を結ぶ運河の開削計画があったことは、あまり知られていません。平安時代の「延喜式」にもあるように、敦賀と琵琶湖を結ぶルートは、北国と京都を結ぶ主要な道筋として、古くから重要な役割を果たしていました。

過去、運河計画は何度かありましたが資料は少なく、言い伝えだけが残るものもあれば、一部実際に工事を手がけたものもあります。最も古いとされるのが、平安時代の武将平清盛が、越前国司であった息子重盛に行かせたという運河開削計画です。敦賀から10キロメートルほど掘り進んだところで大きな岩盤にぶちあたり、開削を断念したと地元では言い伝えられています。このときに造られたのが、今も深坂越の旧街道に残る深坂地蔵（掘止地蔵）だと言われています。

また近世に入って、敦賀領主となった蜂屋頼隆や大谷吉継らによっても計画されたと言われていますが、言い伝えのみで何ら史料は残っておりません。「伝説の計画」といった感があります。

さらに江戸時代に入って、いくつもの計画が知られていますが、結局は実現せず、今日まで日の目を見ていません。ただ、足田地区の一部、運河の面影を残している舟川は、文化・安政年間の姿に復元改修され、今も集落内を流れています。



越前近江糧道測量絵図(慶応3年4月)
財高樹会蔵

運河計画の歴史

平安時代の終わり、平清盛が子重盛に命じて深坂峠を開削しようとしたが、巨石に阻まれ中止、と伝えられる。

近世に入って、敦賀の領主となった蜂屋頼隆や大谷吉継らが敦賀と琵琶湖を結ぶ運河を計画したと言われる。

1669 (寛文9年) 京都の町人、田中四郎左衛門が、新道野を開削し、塩津 沓掛 新道野 足田 敦賀を水路で結ぼうと計画したが、実現せず。

1696 (元禄9年) 田中屋四郎左衛門、岡島源右衛門ら6人が深坂を掘り抜き、湖水の水を足田川に落とし、川舟をもって荷物を運ぶことを計画し、幕府の許可を得るが、敦賀郡内19力村の訴願と海津の反対で中止。

1720 (享保5年) 幸阿弥伊予ら5人が、塩津と敦賀の間5里(約20km)を、水深一尺(約60cm)の隧道を通し、また湖南の瀬田川を改修して大阪へ直接輸送するという壮大な計画を立てるが、幕府の許可は下りず。

1815 (文化12年) 幕府と小浜藩が、山中村より下の川筋を見て回る。

1816 (文化13年) 舟川の開削はじまる。舟川は、足田から氣比神宮前の御手洗川に至り、児屋ノ川につなげたもの。川幅は九尺(約2.7m)。川舟で運ばれた荷物は、足田からは牛車によって山中を経て大浦へ運ばれた。

1834 (天保5年) 馬借座の訴願により舟川廃止される。

1857 (安政4年) 舟川が再開される。長さ三間(約5.4m)幅七尺(約2.1m)の川舟が運航。市内までは文化年間のルートをたどるが、土橋のところで笹の川(旧)に出て今橋のところに荷物取扱所が置かれた。

1866 (慶応2年) 大洪水により破壊され、復旧されず。

1867 (慶応3年) 幕府が、敦賀より琵琶湖に至る運河の開削を加賀藩に命じ測量が行われるが、明治維新によって具体化せず。

1963 (昭和38年) 科学技術庁が、敦賀湾から琵琶湖を経由し伊勢湾揖斐川河口に至る「日本横断運河」を立案。



交通の要衝だった証、道標が立つ

「いっぺん、きれいになった舟川を見に来てください」

平成10年に始まった整備工事は、今春3月末に完了予定です。展示スペースには、委員さんたちが集められた貴重な資料がずらりと並ぶことでしょう。暖くなるこれからの季節、情緒ある風情を残した足田に、ぶらりと散策に出かけてみませんか。心を癒す川のせせらぎと、川沿いに咲く鮮やかな芝桜が迎えてくれますよ。



憩いの広場となるポケットパーク
左奥は公民館の外壁を利用した展示スペース



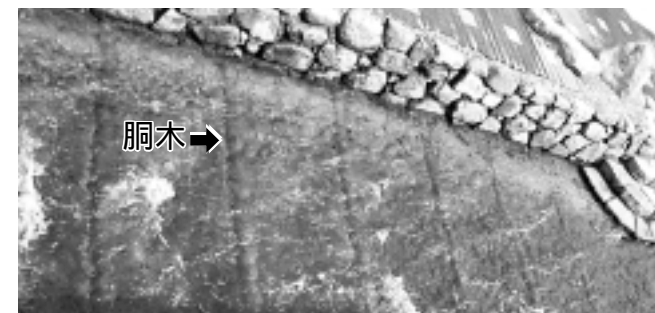
舟川の歴史を見守ってきた桜の老木



当時、舟を留めていた石柱



長さ三間(約5.4m)幅七尺(約2.1m)で、底が平らな舟が3隻1組で運航。1隻に13俵の米を積んでいた。敦賀からの上り荷は米のほか、麦、塩、ニシン、昆布など、下り荷はお茶、酒、煙草、呉服類が主に運ばれていた。(写真は川舟の模型)



当時の川幅は九尺(約2.7m)。公民館前の川の底に並んで見えるのが、舟が滑りやすいように埋め込まれた洞木。太さ五寸(約15cm)の松の木が三尺(約90cm)間隔に置かれた。



大正末期の舟川



現在の舟川
上の写真と同じところから撮影



まだまだできる ごみのダイエット！



えっ！
一人で1日に
1kgもごみを
出しているの？

ごみの減量は、皆さんの心がけひとつです

もう1度、ごみの分別を見直しましょう！

敦賀市の1人1日のごみ排出量は1,099gです。その中には、古紙類としてリサイクルできるものが多く入っています。古紙類の分別を徹底しましょう。

古紙類

「新聞」「チラシ・雑誌・本類」「段ボール」「紙製容器包装（菓子・おもちゃ・贈答品・ティッシュ・ラップ等の紙箱、紙袋、包装紙等）」の4種類に分けて、ひもでくくってください。

●新聞



●チラシ・雑誌・本類



●段ボール



(畳んでくくります)

●紙製容器包装



水銀含有ごみ

水銀含有ごみは、蛍光灯・電池・水銀体温計・鏡です。

<水銀含有ごみ>



蛍光灯

<埋め立てごみ>

白熱球（電球）やグロー球は、埋立ごみですから分別を間違わないようにお願いします。



白熱電球

グロー球

3R ごみを減らすための3つのキーワード

リデュース Reduce 発生抑制

- ▶ 買物には買物袋やバッグを持参する。
- ▶ 詰め替えのできる商品を選ぶ。
- ▶ 簡易な包装にする。
- ▶ 家具等は長く大切に使う。



リユース Reuse 再利用

- ▶ 不用品の交換をする。
- ▶ 酒類や清涼飲料水は再使用びんを選び、空きびんは販売店へ。



リサイクル Recycle 再生利用

- ▶ 古紙類は、集団回収か月1回のステーション収集へ。
- ▶ 牛乳パックや白色食品トレイは店頭回収へ。



春

「新学期」スタート!

新しい出会い、新しい出発

子どもたちは、夢と希望を胸に入学・進級を迎えます。この時期は、教科書や友達・先生が新しくなり、不安や緊張感に包まれていることでしょう。そんなときこそ、家族の理解、家族の愛情が欲しいものです。ぜひ、家族で温かく支えてあげてください。

子どものサイン

連休ごろになると、新しい生活や環境に対して何らかの形で言葉や行動にサインを発します。見逃さず、子どもと向かい合って、話し合いながら、子どもの失敗や喜びをあるがままに受け入れてください。時には一緒に喜び、時には一緒に悩み、時には親らしく諭すことも忘れず、励ましながら一緒に歩みましょう。そんな安心して話せる場が「家庭」であってほしいと願います。また、安心できる地域であってほしいと願います。



つないでいきますが？
親子の心の絆

地域で見守ろう
地域の子どもたち

相談活動

少年愛護センターでは、家庭教育相談、青少年の悩みを中心に相談活動を行っています。

「子どもを素直に育てたい」「親の気持ち、子どもへそのまま伝わらない親の気持ち、すれ違う」「子と親」の気持ち、お互いにどうすればわかり合えるのでしょうか。」「しつけ」も悩みますね。

そんなとき、一人で抱え込まずに勇気を出して、解決の糸口を見つけるため、気軽に相談に来てください。

学校のこと・勉強のこと・友達のこと・家でのこと・しつけのこと・体のことなど、いろいろな悩みの相談に秘密を固く守って応じます。

相談日時 毎週火曜日・日曜日
(第3日曜日を除きます)

電話相談 9時～17時
お気軽にかけてください。
☎0120・0990・523
☎23・0189

訪問相談 必要に応じて行います。

「愛の一声」のご協力を!

少年愛護センターでは、補導員2人1組で市内の量販店、ゲームセンターなど青少年たちの集まりやすい場所を重点的に巡視し、非行につながる様な問題行動の一手手前で歯止めがかけられるよう「愛の一声」をかけています。

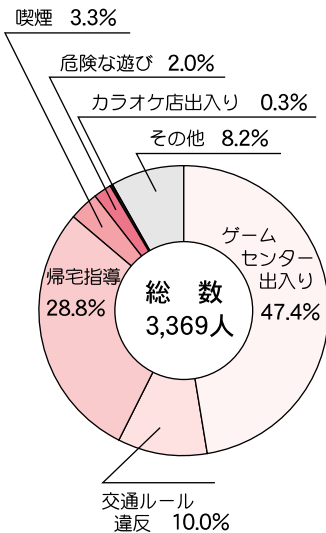
子どもたちに対して、非行防止・事故防止に共通のご理解をいただいで、子どもたちを事故から守るために「愛の一声」をかけていただき、心豊かな青少年の育成にご協力をお願いします。



電話相談を受ける相談員

平成14年度 声かけ状況

<行動別内訳>



<学校別内訳>

小学校	1,172人 (うち女子343人)
中学校	791人 (うち女子298人)
高等学校	1,176人 (うち女子656人)
その他 (有職・無職少年)	230人 (うち女子 57人)

補導員 日誌

平成15年12月22日 (月) 雨

今、中学生のカラオケ店への出入りがひんぱんと聞きました。確かに我が息子にしても願望はあるようですが、子ども同士の入店はいけないことになっているので禁止を伝えています。

中学生ということ、また密室ということでは何かあってはいけないと配慮する店もあると聞き、安心すると同時に、さて、子どものストレス解消とは? と考えさせられます。

学校としてもカラオケ店など巡視に行くのですが、営業上の問題も出てくるとのこと。

こちらは巡視の立場・・・営業妨害しているわけではないのですが・・・経営者側から見れば、じゃまでうつつとうしい存在としてみられているのかな?

補導や巡視している私たちにとってもお店側と理解を深めてお互いがさらに良い関係を保って、連絡しあえる仲になれるとよいのに・・・と考えさせられました。

毎月15日は「青少年育成の日」 毎月第3日曜日は「家庭の日」

年3回「少年愛護センター」より季節号「を区長さんを通じて回覧で街の子どもたちの様子や情報をお知らせしています。」

敦賀市歌風景写真コンテスト2003結果発表



市歌を歌おう

2月11日(水)にコンテストの表彰式が行われ、14人の方々を受賞されました。入選作品は、このほど出来上がった敦賀市歌CDのジャケットや市歌風景写真立てに掲載され、市歌普及に活用します。

入賞作品は、市役所を皮切りに4月30日(金)まで、各公民館や図書館を巡回し展示しています。市歌CDは、生涯学習センターと公民館で貸し出しを行います。各種団体の総会や集会、町内会の集まりなどで市歌を歌われる場合は、ご利用ください。

市歌CDのほか、歌詞の大型掲示物も貸し出しを行います。市歌普及に活用してください。



最優秀賞 「彼岸花咲く頃」



優秀賞 「敦賀の港と山」



優秀賞 「雪山」



優秀賞 「課外授業」

入賞者

入賞	氏名	住所	題名
1 最優秀賞	田中 靖	敦賀市	彼岸花咲く頃
2 優秀賞	川緑 功	福井市	敦賀の港と山
3 優秀賞	笠原 由和	敦賀市	雪山
4 優秀賞	山本 勝亮	鯖江市	課外授業
5 入選	岡本 徳久	敦賀市	波晴れ
6 入選	山本 勇三	敦賀市	野坂山を遠望する旅人
7 入選	幸柳 毅	敦賀市	野坂山も春
8 入選	前川 豊	敦賀市	新雪の松原
9 入選	吉本 與一	敦賀市	気比の松原を駆ける少年達
10 入選	青山 秀子	鯖江市	真夏の大噴火
11 入選	金崎 稔	敦賀市	海岸物語
12 入選	金崎 昌代	敦賀市	海の幸
13 入選	辻 弘司	敦賀市	晩秋の風
14 入選	中村 陽一	敦賀市	花見の頃

今後の巡回展

- 南公民館 (3月13日~19日)
- 西公民館 (3月26日)
- 東郷公民館 (4月2日)
- 中郷公民館 (4月9日)
- 愛発公民館 (4月16日)
- 東浦公民館 (4月23日)
- 図書館 (4月30日)

乳幼児医療費助成が

小学校就学前まで拡大!

申請手続きはお済みですか?

4月1日診療分より、乳幼児医療費助成の対象年齢が小学校就学前まで拡大します。ただし、心身障害者医療費助成などの公費助成を受けている方は除きます。

★今回手続きの必要な方

現在、乳幼児医療費の助成を受けていない小学校就学前の乳幼児(ただし、平成16年4月から小学校へ入学する幼児は除く)

★申請方法

「乳幼児医療費受給資格認定申請書」に必要事項を記入し、児童家庭課まで提出してください。

お持ちいただくもの
印鑑(ゴム印は除く)
健康保険証

保護者名義の通帳(郵便局は除く)

3月31日までに申請がない場合は、4月1日から助成を受けることができない場合がありますので、必ず申請を忘れないようにしてください。

★新しい乳幼児医療費受給資格者証の送付

今回申請手続きをした方、現在乳幼児医療費助成を受けており引き続き4月以降も資格のある方は、3月下旬に新しい乳幼児医療費受給資格者証を郵送します。



子育て支援センターが

一時、南公民館3階へ

移転します



本町保育園は、3月末をもって閉園し、今秋新たに「子育て総合支援センター」としてスタートすることになりました。

改修工事期間中は、併設の地域子育て支援センターを南公民館3階に移転し、5月の連休明けから事業を実施します。

この間、利用者の方々にはたいへんご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきまますようお願いいたします。